

東京都住宅供給公社 第122回評議員会議事録

1 開催日時

令和3年3月25日（木）午後2時から午後2時50分まで

2 開催場所 東京都住宅供給公社 本社3階大会議室

3 出席者

(1) 評議員総数 11名

(2) 出席評議員 11名（うちオンライン出席6名）

| | | |
|-----------|------------|-----------|
| 評議員 おじま紘平 | 評議員 米川 大二郎 | 評議員 中山 信行 |
| 評議員 吉原 修 | 評議員 池川 友一 | 評議員 宮瀬 英治 |
| 評議員 石田 大介 | 評議員 齋藤 明 | 評議員 佐々木 宏 |
| 評議員 千葉 茂寛 | 評議員 野口 宏幸 | |

(3) 出席した役員数 6名

| | | |
|-----------|-----------|----------|
| 理事長 中井 敬三 | 理事 松丸 俊之 | 理事 永島 恵子 |
| 理事 千葉 裕 | 理事 久保田 浩二 | 監事 居原 健一 |

(4) その他の出席者 14名

公社住宅事業部長、少子高齢対策部長（ストック活用推進担当部長）、住宅計画部長、住宅営繕部長、公営住宅管理部長、窓口運営部長、総務部長、総務部担当部長（総務・危機管理担当）、総務部担当部長（経営企画担当）、総務部担当部長（IT推進・契約担当）、総務部担当部長（特命担当）、ストック改善担当部長、営繕・工事監理担当部長、住宅営繕部担当部長（設備担当）

4 議長

評議員 佐々木 宏

5 議題

第1 令和3年度 事業計画

第2 令和3年度 予算

6 議事の経過

(1) 事務局より、評議員総数11名のうち11名が出席しており、評議員会規程第七条第三項により本会が成立していることを報告した。

(2) 中井理事長の挨拶の後、佐々木議長が議事録署名人の選出方法を諮り、議長一任の声を受けたため、千葉評議員及び野口評議員を議事録署名人とすることを諮り、了承を得た。

(3) 佐々木議長は、議題第1及び議題第2について一括して公社から説明を受け、その後意見を受けることを評議員に確認し、松丸理事が議題第1及び議題第2について説明した。

佐々木議長が意見等の有無を確認したところ、評議員から主に以下の意見等があった。

- ・ 公社が昨年開始したコロナ禍特別支援住宅について、1月に再度緊急事態宣言が発令されるなど、感染の拡大による景気、経済の冷え込みの影響は、今後も続くことが予想されることから、4月以降も受付を継続すべきである。
- ・ 令和3年度事業計画において、長年に亘って公社住宅にお住まいの高齢者を対象として、収入や世帯状況等の変化に応じて、より低廉な家賃の公社住宅に住み替えが可能となる支援制度を創出するとしている。
長年公社住宅にお住まいの方が、住み慣れた地域で住み続けられる制度は必要と考えるところであり、早期な制度導入を期待する。
- ・ 公社住宅、都営住宅にお住まいの住宅確保要配慮者である高齢者の方々が直面している引っ越しや、転居に伴う長年使ってきた家財の整理などの課題について、積極的な対応を検討していただきたい。
- ・ 公社住宅、都営住宅を支える良質な建築・土木などの事業者は、公社の大事なパートナーであると考えている。この事業者が、若い人材を確保し、またご高齢の技術者を守っていけるような安定した経営ができる環境を整えられるよう長期的に検討していただきたい。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大により住まいに困窮する人達のニーズに応える取り組みについてぜひ進めていただきたい。
- ・ JKK シニア住宅や高齢者の住み替え支援の取組は、利用しやすい制度にしていきたい。
- ・ いま、若い世代に公社住宅を周知するために、DIY 賃貸住宅を含め、SNS の活用、とりわけインターネットの活用には是非取り組んでいただきたい。

- ・ 公社の役割というのは公的住宅の要素の役割である中で、家賃が民間住宅と比べて遜色ない額になっているという状況が見受けられる。
令和3年度事業計画において、テレワーク環境の整備とあり、これを否定するものではないが、家賃をどうやって下げていくかというのも公社の役割の一つとして検討いただきたい。
- ・ 騒音、近隣トラブルについて、被害にあっている方への訪問や現地確認だけではなく、問題の解決のために、騒音等を発生させていると思われる方への訪問も実施していただきたい。

以上により、第122回東京都住宅供給公社評議員会の議事を全て終了し、佐々木議長は午後2時50分に閉会を宣言した。

令和3年6月29日

議 長 評議員 佐々木 宏 ⑩

議事録署名人 評議員 千葉 茂 寛 ⑩

議事録署名人 評議員 野口 宏 幸 ⑩